

土曜学習応援団になりませんか？

～全ての子供たちの豊かな学びのために～

皆さんは、土曜日をどのように過ごしていますか？

平成14年度に完全学校週5日制がスタートして12年が経過し、土曜日を活用して、ご家庭や地域では、様々な学習や体験活動に取り組んでいただいていることと存じます。

未来を担う子供たち一人一人の可能性を最大限伸ばし、健やかに育むためには、子供たちが社会で活躍する多くの大人に出会い、将来の夢や志を持って学ぶ機会の充実が必要です。

文部科学省では、子供たちがより豊かに土曜日を過ごすことができるよう、土曜日の教育活動を応援するため、多様な企業・団体の方々の参画を得て「土曜学習応援団」を組織し、実社会での経験や企業・団体の強みを生かした出前授業を行っていただく取組を積極的に推進しています。

「土曜学習応援団」

～土曜日に出席授業等の講師として企業・団体の方が参加している事例～



金融系A社による
グローバル人材を目指す講演



電機メーカーB社による
ハイブリッドカー親子工作教室



掃除用具メーカーC社による
お掃除体験教室

全国では、公立小学校、中学校、高等学校の約40%（約12,700校）において、土曜日の教育活動が展開されています。

また、現在、土曜学習応援団には、約100社・団体のご賛同をいただいています。

- **それぞれの企業・団体・大学等の皆様の豊富な知識・ご経験を子供たちに届けませんか？**
- **是非「土曜学習応援団」へのご賛同と出席授業等の講師としてのご参加をお願いします。**

詳細は、裏面及び文部科学省の土曜学習応援団ホームページをご覧ください。

URL: <http://doyo.mext.go.jp>



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



土曜学習応援団に関するQ & A

Q.土曜学習応援団になるとどんなメリットがありますか？

A 出前授業等にご協力いただくことで、各企業・団体の強みや社員の経験を子供たちに伝えることができ、**次代を担う人材の育成に貢献**できます。

また、**地域との連携**ができ、各社の取組に対する理解が深まるなど、企業イメージの向上にもつながります。

なお、**出前授業の事例等**について、文部科学省よりホームページや自治体への説明会などを通じて**広く周知**させていただくことも可能です。

Q.土曜学習応援団になると何か負担がありますか？

A 出前授業の講師としてご参加いただいたり、関連団体・支社等への土曜学習応援団のご紹介等をお願いしていますが、ご賛同に際し、**協賛金等の負担をお願いすることはありません**。

また、出前授業等については、地域や日時等の条件に応じて、実施の可否をご判断いただけますので、**できる範囲でご協力**をいただければ結構です。

Q.出前授業等を実施するためにはどうしたら良いですか？

A まず、**企業・団体の連絡窓口を登録**いただきます。学校等からの依頼がありましたら、**文部科学省から窓口の方にご連絡**し、依頼内容をご確認の上、実施の可否をご判断いただきます。なお、やりとりを重ねる中で、学校等から直接ご連絡することもあります。

＜参考＞

- ・土曜学習の**実施主体は、その学校を設置する自治体**。
- ・自治体では**教育委員会の社会教育課等**の部署が担当。

Q.取組に対する助成措置はありますか？

A 出前授業に係る講師謝金や旅費等をお支払いできるか、無償でお願いするかは、**実施主体である自治体の判断**となります。

なお、文部科学省では、自治体が出前授業の講師等に支払う謝金等に対して**自治体向けに補助事業**を設けています。

(文部科学省の支援は、上限2,200円／時間)

【本件担当】

文部科学省 生涯学習政策局 社会教育課 地域・学校支援推進室 鍋島、佐藤、入江、武川
直通：03-6734-3080 FAX：03-6734-3718 Email：doyo@mext.go.jp

ご賛同いただける場合は、以下に記入の上、本件担当まで送付願います。(FAXでもメールでも構いません)

土曜学習応援団に賛同します

ご賛同 団体名	(例) 株式会社文部科学、一般社団法人〇〇〇〇 など
------------	----------------------------

【連絡担当者】今後、本件についてご連絡させていただく方を教えてください。

氏名			
会社・団体名			
役職			
電話		FAX	
E-mail			

土曜学習応援団の企業・団体をお願いしたいこと

H26.12

協力事項

学校等が行う土曜授業等に**出前授業の講師として参加**をお願いします。

(可能であれば、関連企業・団体等へ**土曜学習応援団の紹介**をお願いします)

参加の仕方

**出前授業の講師
として参加**

など

分野

キャリア教育

自然体験
食育教室
実験・工作
ビジネススキル
グローバル人材育成
文化芸術・スポーツ
学力向上
など

形態

出前授業

農業体験
施設見学
屋外での
体験活動
など

連携先

学校

市区町村
都道府県
など

さまざまな連携のかたちがあります

※具体のプログラムの実施方法・内容は連携先と相談のうえ、決めることとなります。

Q & A

Q.土曜学習応援団になるメリットは？

A.出前授業等にご協力いただくことで、子供たちは豊かな経験を積むことができ、**社会に役立つ人材育成に貢献するなかで、地域との連携ができ、**取組に対する理解が得られるなど、**企業イメージが向上**します。

応援団になっていただくと、**文部科学省が取組をホームページや自治体への説明会などで広く周知**します。

Q.出前授業等の具体的な実施にはどうしたら良い？

A.当面は**企業・団体の連絡窓口と協力内容を登録**いただき、学校等からの依頼を**文部科学省からご連絡**します。やりとりを重ねる中で、学校等から直接ご連絡することもあります。

参考

- ・土曜学習の**実施主体は、その学校を設置する自治体**となります。
- ・自治体では**教育委員会の社会教育課等**の部署が担当しています。

Q.土曜学習応援団になると何か負担がありますか？

A.土曜授業等への出前授業の講師として参加や土曜学習応援団の紹介をお願いしていますが、土曜学習応援団の賛同に際し、**協賛金等の負担をお願いすることはありません**し、実施の条件が合わない場合は、実施を見送りいただいてもかまいません。**できる範囲でご協力をお願いします。**

Q.取組に対する助成措置はありますか？

A.助成措置は**自治体の判断**となります。謝金や旅費等ができることもありますし、無償でお願いすることもあります。

なお、文部科学省では、自治体が出前授業の講師等に支払う講師謝金等に対して**自治体向けの補助事業**があります。
(文部科学省の支援は2,200円/時間まで)

土曜学習応援団になりませんか？

～土曜日は学校へ！子供の学びを皆で支えよう！～

H26.12

○ **学校週5日制**を平成14年度から完全実施してから12年が経過し、土曜日を必ずしも有意義に過ごせていない子供たちも少なからず存在。平成26年度は**約40%の学校や学校区で、土曜日に何らかの教育活動**を実施予定。

○土曜日は平日に比べて、①社会人が参加しやすいことや、②まとまった時間が確保しやすいことなどの長所があり、**土曜日ならではの充実した取組が可能**。

学校	土曜日に何らかの教育活動を実施予定	全国の公立学校数
小学校	7,981校	20,836校
中学校	2,677校	9,784校
高等学校	2,072校	3,646校
合計	12,730校	34,266校

しかし…

約40%の学校で実施予定（H26）

○ 学校・保護者等から**企業・団体の参画によって、多様なプログラムを子供たちに提供したい**という要望が増えている。

○ 現在、多くの学校区の土曜日の活動は、学校の教員による授業や、日頃つきあいのある地域の方等の参画にとどまっている。

そこで！

○ **是非とも、企業・団体の皆様に、土曜学習応援団になってください。**

○ **企業・団体の強みや実社会での経験を活かして、出前授業等の講師として参加をお願いします。**

☀土曜学習応援団の活動が始まっています！☀

土曜日に出席授業等の講師として参加している事例

賛同企業・団体数 現在約90社・団体
→さらなる企業・団体の参画が必要です！



金融系A社による
グローバル人材を目指す講演



電機メーカーB社による
ハイブリッドカー親子工作教室



掃除用具メーカーC社による
お掃除体験教室



プロ棋士による
やさしい囲碁教室

詳細は土曜学習応援団ホームページをご覧ください。

URL: <http://doyo.mext.go.jp>

企業等との連携の推進(土曜学習応援団)について

- 多くの社会人が土曜日の教育活動に参画することができるよう、多様な企業、団体等からなる「土曜学習応援団」を組織し、特設HPを開設。
賛同企業等の内容を充実させ、4月中旬より本格運用。
- 上記HPに、賛同企業等が実施している(または実施可能な)出前授業等の事例を掲載し、全国の教育委員会等へ情報提供予定。
- 今後、全国の自治体の土曜日の教育活動の実施状況等についても掲載し、企業と教育委員会の双方に必要な情報を提供予定。

<平成26年12月2日現在の賛同企業・団体(敬称略)>

○賛同数：101社・団体

アフラック、花王、カシオ計算機、キッコーマン、ゼンショー、ダスキン、凸版印刷、野村ホールディングス、SMB C日興証券、ぴあ、チームスマイル、三菱商事、損保ジャパン日本興亜ホールディングス、パナソニック、情報技術開発、ニチイ学館、日本経済団体連合会、日本貿易会、全国信用金庫協会、日本証券業協会、日本PTA全国協議会、全国高等学校PTA連合会、ボーイスカウト日本連盟、全国子ども会連合会、日本レクリエーション協会、日本舞踊協会、日本数学検定協会、日本ニュース時事能力検定協会、全日本ピアノ指導者協会、武士道剣会、おやじ日本、日本学生社会人ネットワーク、危険学プロジェクトグループ8 等

○その他：約120社・団体と交渉中

【文部科学省特設HP】

<http://doyo.mext.go.jp>

※要望等に応じて、文部科学省において、企業等と教育委員会等とのマッチングも実施可能。



官民連携による「土曜日教育ボランティア運動」を推進し、より豊かな土曜日の教育環境を実現

実際の掲載予定イメージ



土曜日
教育ボランティア
について



企業・団体



学校・教育委員会

賛同企業・団体

賛同企業・団体

事例紹介

窓口紹介

氏名または企業・団体名	肩書き
大竹 美喜	アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社) 創業者・最高顧問
茂木 友三郎	キッコーマン株式会社 取締役名誉会長
小川 啓太郎	株式会社ゼンショーホールディングス
鈴木 幸一	株式会社オキドキサイエンス 代表取締役
野村グループ	
カシオ計算機株式会社	
認定特定非営利活動法人おやじ日本	
花王株式会社	
一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）	

事例紹介

野村グループ

野村グループは、幅広い世代を対象とした金融リテラシー教育に90年代から取り組んでいます。為替、通貨交換、株式投資、ライフプランなどをテーマとした体験型のプログラムを小中高校向けに実施し、子供たちの生きる力の醸成を目指しています。

<http://www.nomuraholdings.com/jp/csr/citizenship/society/education.html>

NOMURA

お問合せ

下記までお問い合わせください。

文部科学省生涯学習政策局

社会教育課地域・学校支援推進室地域学習活動企画係

TEL : 03-5253-4111 (内線3284・2005)

E-mail : doyo@mext.go.jp



「土曜学習応援団」について ～御賛同のお願い～

文部科学省では、社会総がかりでの教育の実現に向けて、現役の企業・団体関係者など幅広い方々の参画を積極的に促進し、土曜日の教育活動を推進しています。

■概要

社会総掛かりでの土曜日の教育活動を全ての学校で実現することを目指し、多様な賛同企業等から成る「土曜学習応援団」を立ち上げ、出前授業の実施や官民協働により広報啓発等を展開します。

■ご依頼内容

- ◎ホームページや各種会合・研修の機会等を通じて、全国の支店やグループ会社等に対し、本運動の御周知と御賛同の呼びかけをお願いします。
- ◎地域の小・中学校・高等学校等において、日頃の業務経験や専門知識等を活かした出前授業の実施、教育ボランティアへの参画に向けた環境づくりや啓発をお願いします。

御賛同いただきましたら、文部科学省のホームページ等に御賛同者として掲載し、広く周知させていただきます。

大変ご多忙の日々とは拝察いたしますが、日本の将来を担う子供たちのために私どもに若干の時間を割いていただければ幸甚に存じます。何卒御高配いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

【本件担当】 文部科学審議官 前川 喜平 大臣官房審議官（生涯学習政策局担当） 徳田 正一 文部科学省生涯学習政策局 社会教育課長 谷合 俊一 直通：03-6734-2977		【本件お問い合わせ先】 文部科学省生涯学習政策局 社会教育課地域・学校支援推進室 室長：鍋島、室長補佐：佐藤、係長：入江 直通：03-6734-3080 FAX：03-6734-3718 Email：doyo@mext.go.jp	
---	--	---	--

「土曜日教育ボランティア」運動に賛同します

御賛同 団体名	(例) 株式会社文部科学、一般社団法人〇〇〇〇 など
	↓括弧内は団体として御賛同いただく場合は記載不要です。 ()

※個人として御賛同いただく場合は以下のように記載願います。

株式会社文部科学 (代表取締役 文部 太郎)

【連絡担当者】 *今後、本件について御連絡させていただく方を教えてください。

氏名			
会社・団体名			
役職			
電話		FAX	
E-mail			